

# GRANDCUBE

Osaka International Convention Center

PRESS

Vol.37 2023 Winter

「中之島ユニークベニツ戦略」始動

NAKANOOSHIMA  
UNIQUE VENUE  
PROJECT

特集：特別対談 Special Dialogue

# NAKANOSHIMA UNIQUE VENUE

「中之島ユニークベニュー戦略」始動

*Project*

「人」「モノ」「コト」を呼び込む  
ユニークベニューが  
中之島活性化のカギになる

株式会社大阪国際会議場  
常務取締役営業部長

芳賀 貴臣

株式会社JTB  
西日本MICE事業部長

赤沼 真里

会議やレセプションの開催時、特別感や地域特性を演出できる施設「ユニークベニュー」が、都市の差別化を図るツールとして利活用されています。日本でも、博物館や美術館、歴史的建造物、神社仏閣、庭園、城郭、商店街などがユニークベニューとして注目されており、中之島でもその開発と活用が進んでいます。今回はユニークベニューの意義や活用状況、MICEや地域に与える効果などについて、株式会社JTB赤沼真里西日本MICE事業部長と、株式会社大阪国際会議場常務取締役営業部長の芳賀貴臣が対談しました。

## MICEの誘致と 記憶・記録に残る演出に ユニークベニューが効果を發揮

**芳賀** 先日は、大阪中之島美術館をユニークベニューとして活用する試みにご協力いただき、ありがとうございました。工学系の研究家の方が集まつた国際会議の後、大阪中之島美術館を貸し切って行った展覧会と懇親会は、皆様に大変好評でした。

大阪中之島美術館は大阪府立国際会議場から徒歩7~8分と歩いて行ける距離です。会議後の夕刻、国内外から来られた約150人の参加者の皆様は「川辺を散歩できて気持ち良かった」と喜んでおられました。また、展覧会や懇親会は参加者様同士がざっくばらんに話せる雰囲気で笑い声が絶えず、我々も手応えを感じました。

最初、営業で同会議の主催者様とお会いした時、会議後の懇親会等にも特別感を求めておられることが分かりました。JTB様のご協力のおかげでこのような良い提案ができ、感謝しています。

**赤沼** こちらこそ、ありがとうございました。JTBは交流創造事業をドメインにしており、MICEはまさに我々のドメインそのものです。その部分でお役に立ててうれしいです。

今回の最大の成果は、優れた機能を持つ大阪府立国際会議場での会議からユニークな美術館での懇親会等まで、一連の流れで対応できしたことだと思います。多くの場合、MICEには運営を担うイベント会社が入ることが多いですが、今回は大阪府立国際会議場様が主となって弊社がサポートさせていただくことで、お客様にスムーズなMICEイベントを体験していただけたと思っています。

**芳賀** これまで、参加者の皆様は会議後にUSJ等へ行かれることはありましたが、主催者様や旅行会社様が企画するケースが大半だったので、私たちがそれに関わることはありませんでした。今回は、大阪府立国際会議場での会議と、日頃からお付き合いのある大阪中之島美術館での展覧会・懇親会をパッケージで提案し、良い成果を得られました。これは、会議にユニークベニューを掛け合わせるひとつのモデルパターンになると思います。

**赤沼** MICE成功のカギは、いかに演出し、記録・記憶に残すか、です。その重要なファクターが、ユニークベニューだと考えています。このたびのMICEは、主催者様、参加者様にとって、記録と記憶に残るものになったのではないでしょうか。

**芳賀** はい、皆様に喜んでいただき、私たちも、ユニークベニューはMICE誘致の強力なツールだと改めて実感しました。

国内外の都市でも今、ユニークベニューを活かしたMICEが盛んに行われています。日本での例を挙げると、G20大阪サミット2019では、首脳会合は大阪国際見本市会場（インテックス大阪）で、夕食会は大阪城の見える大阪城西の丸庭園大阪迎賓館で行われました。また、2023年10月28~29日に開催されたG7大阪・堺貿易大臣会合も、本体会合は大阪府立国際会議場で、地元歓迎行事は仁徳天皇陵とホテルアゴーラリージェンシー大阪堺で実施されました。今やMICEは、ユニークベニューがセットになっていますね。

**赤沼** おっしゃる通り、MICEと、土地のユニークな地形や建造物といったユニークベニューは切り離せないものになっています。参加者様にとって重要なのは、MICEに「差別化された何か」が加わることです。ユニークベニューをMICEの演出に組み込むことはMICEそのものの価値を高め、MICEの成功、主催者様の成果にダイレクトにつながります。

しかも、ユニークベニューは会議室とは異なる空間で交流を図れるため、コミュニケーションの質が上がるという効果もあります。それこそ、ユニークベニューの意義だと思っています。会話が弾めば、MICEそのものも活性化します。今後もMICE成功に向けて、ユニークベニューはどんどん利活用されると思います。

**芳賀** これを機に、当社もユニークベニューを組み合わせた提案を行っていきたいと思います。

## 施設をつないでユニークベニューを“面化”し、中之島をブランディングする。

### 中之島の企業、施設、団体と連携してユニークベニューを開発

**赤沼** 中之島には、さまざまなユニークベニューがありますが、現在の課題はそれらを発信できていないことだと思います。各地の取引先との商談を通じた感覚では「大阪府立国際会議場」の名称は全国に知られています。一方、「中之島」の知名度は低く、大阪といえば「キタ」「ミナミ」のイメージが強いのが現状です。また、中之島に国立国際美術館や大阪市立東洋陶磁美術館、中之島香雪美術館といった美術館、歴史的建造物があると

知っている方も少ないのではないでしょうか。

**芳賀** 確かに、それぞれの美術館は有名ですが、それらが中之島にあるとご存知の方は少ないかもしれません。会議後の懇親会等に、中之島のユニークベニューを取り入れてもらうためにも、積極的に発信することは大切だと思います。

**赤沼** そうした多くの文化施設に加えて、「水の都」の風情を感じられる立地も中之島のユニークベニューではないでしょうか。街中にある島に、これほど機能的な国際会議場やホテル、美術館が点在し、水路を移動したり周遊を楽しんだりできるエリアはなかなかありません。

**芳賀** 街中を流れる川を、船で楽しめるのはこのエリアの魅力だと思います。大阪府立国際会議場前の船着場からは、東に行くと淀屋橋方面や南西に行くと大阪市中央卸売市場辺りまで、30~40分の周遊をご体験いただけます。

**赤沼** 周遊できる船は現状では小型なので、数百人の参加者様に乗っていただくのは難しいかと思います。ただ、主催者の理事の方や役員の皆様に川巡りを体験していただくのは、中之島の地形を生かしたユニークベニューと言えますね。

**芳賀** 道路より低い川面からは、見慣れた街並みもどこか新鮮に感じます。中之島には高層ビルが多いので夜景もきれいですし、川辺にある築100年を超える大阪市中央公会堂も見所です。この建物は、大阪府立国際会議場と同じMICE施設ですが、建物自体が重厚で美しいので歴史的建造物をお好きな方がひっきりなしに見学に訪れてています。過去にもありましたが、今後も当会議場の参加者様の懇親会場として活用させていただければ、強力なユニークベニューになると思っています。

ただ、今後は、一つひとつの施設や場所をスポット的に取り入れるのではなく、会場や観光、宿泊、アクセスも含めて、中之島エリア全体をユニークベニューと捉えてプロモーションをかけていくことが、MICE誘致のポイントになると考えています。

今、中之島のMICE施設や文化施設のほかに、中之島のリーガロイヤルホテル様やコンラッド大阪様、施設でいえばフェスティバルホール様、多目的ホールの堂島リバーフォーラム様などとの連携も検討しています。さらに、中之島を横断している京阪電気鉄道株式会社様や大阪水上バス様、一本松海運様といった交通事業者様とも連携してユニークベニューと組み合わせれば、さまざまなコンテンツを開発できると考えています。

**赤沼** 大阪府立国際会議場様は今、中之島に点在する美術館や施設をつないでユニークベニューを“面”にして、主催者様に提案しようと

されていますよね。その動きに伴って、中之島に本社を置く関西の代表的な企業様、施設様も、このエリアを盛り上げていこうとされています。中之島はJR大阪駅からアクセスしやすく、中之島駅から京阪電車に乗れば、京都まで乗り換えなしで行くことができます。また、2031年には関西国際空港からなにわ筋線が中之島まで伸びる予定です。利便性が高まりつつある今、まさに“中之島プランディング”が加速していると感じます。

## 産官学一体で 中之島を“パビリオン化”する

**芳賀** 中之島には、施設や企業だけでなく、中之島の魅力づくりや情報発信を行っている団体もあり、当社も参画しています。例えば、まちづくりを推進する中之島まちみらい協議会や大阪大学様を中心に活動しているクリエイティブアイランド中之島などです。これまで私たちは、中之島全体のブランド力を高める事業の展開に向けて、協議をしてきました。現在、前述の団体を中心におーる中之島で取り組もうと、2025年の大阪・関西万博の開催中に中之島全体をパビリオン化する「中之島パビリオンフェスティバル(仮称)」を準備中です。大阪・関西万博にからめたMICEを中之島でも展開したいという思いで、当社社長を筆頭に進

めている最中です。その中で、人の通行専用の橋があり、その橋の上でカフェやバー、ビアホールを出店する案も出ています。これはまさに、中之島の地形を生かしたユニークベニューだと考えています。同フェスティバル開催に向けて、ぜひ、JTB様のお力をお借りしたいと思っています。

**赤沼** JTBはデステイネーションマネジメントカンパニー(DMC)を標榜しており、全国の自治体様と一緒に、街をより良くしてデステイネーションとしての価値を高めるマネジメントをさせていただいている。

DMCの観点で申しますと、まず必要なのは、発信する商品やコンテンツです。これはすぐに生み出せるものではありませんが、中之島には「中之島パビリオンフェスティバル(仮称)」など、訴求するものがそろい始めています。弊社は、そのイベントの開催にあたり、マーケティングからチケット販売などでお力添えできると思っています。

**芳賀** ありがとうございます。とても心強いです。

**赤沼** この事業に賛同されている企業様、団体様、施設様の利害は決して同じではないのに、中之島の皆様がこのエリアの価値を高め、人流を増やすために尽力されており、その活動を大阪府・大阪市も後押ししています。まさに、産官学が力を合わせて中之島を盛り上げようとされていて、活気を感じます。こうした合意形成や仲間づくりは、できそうでなかなかできないので、すばらしいなと思います。

**芳賀** ほかの地域で、似たような事例はないですか?

**赤沼** コンベンションビューローなどの外郭団体が旗振り役となって、地域を活性化しようとしている例は見られます。しかし、中之島のように、民間の方々が旗振り役を担っている例はありません。この動きは、中之島の独特かつユニークな存在の大府立国際会議場様が、5000人規模の中之島なつまつりを開催するなど、地域を盛り上げる活動を継続されてきた成果と言えるでしょう。今のネットワークは突然できたのではなく、これまでの取り組みの中で形成され、その結果、“面”としてのユニーク



ベニューが形になりつつあるのだと思います。

**芳賀** 中之島全体をユニークベニューとして組み込んだMICE体験が楽しければ、人はまた中之島に戻って来てくれるでしょう。すると、このエリアの魅力は高まり、さらに人が増えます。つまり、中之島のユニークベニューが充実すれば、MICE事業の発展だけでなく、中之島のブランド力の向上にもつながります。

ユニークベニューの開発・活用で目指しているのは、中之島全体の活性化に良い影響をおぼすこと、そして、地域住民の皆様が中之島に住んで良かったと誇れる街にすることです。それこそが、大阪府立国際会議場が地域に果たすべき役割だと思っています。

**赤沼** そもそも「MICE」は、シンガポールが、人を呼び込み地域を活性化する誘客戦略として使い始めた言葉です。MICEで生まれる人流は地域での消費拡大や地域活動を活発化し、街の魅力が高まり、また新たな人流が生まれる——というサイクルができるが、地域の価値も上がるでしょう。そのような街づくりに貢献できるよう、当社も御社と一緒にユニークベニューを活用したMICEを考え、提案していくたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

**芳賀** こちらこそ、よろしくお願ひいたします。本日は、ありがとうございました。



## ユニークベニュー実施事例

### 実施例1

**実施日**  
2022年11月7日(月)、22日(火)  
**主催**  
株式会社大阪国際会議場  
**利用者**  
当社アドバイザーの皆さま  
**内容**  
クルーズ船での中之島ナイト周遊



■夕暮れ時の中之島をご案内、普段と違う大阪・中之島をご体験いただきました。アドバイザーの皆さまからは「海外のVIPに喜ばれる体験、是非とも商品化を目指してほしい」「大阪市内で“クルーズ”体験というのは、他のMICE施設と差別化を図れる強力な武器である」とのお言葉をいただきました。(担当者コメント)

### 実施例2

**実施日**  
2019年3月26日(火)  
**主催**  
国際会議「IEEE VR 2019」  
**利用者**  
「IEEE VR 2019」海外参加者  
**内容**  
黒門夜市大阪グルメナイト



■主催者様からは、「今まで最終日のディナーはホテル等で正餐のコース料理提供が普通であり、黒門市場でのカジュアルなイベント開催は不安がありました。しかし、大阪らしい雰囲気を出したかったため、今回は思い切って趣向を変えた結果、参加者の方々からは「過去最高」とのお声をいただき、のちのヒアリングでは満足度はほぼ100%でした。」と回答いただいております。また、黒門市場の関係者の方々からは、「全ての店舗に会期後ヒアリングを行った結果、『国際会議参加者と交流することができ、自分たちも国際交流の一端を担っていることを実感することができた』との声もあった」と聞いております。大阪観光局としては、MICE開催について、主催者様、そして参加者の皆さまに満足していただくことは当然ですが、開催にご協力いただいた地元関係者の方々が満足し、「またやりたい」と言っていただけたことは当局にとっても非常に大きな力となりました。経済効果はもちろんのこと、国際会議に一般市民が関与することにより、自分たちの街の誇りにつながったと感じておられ、MICE開催におけるシックプライドの醸成にも貢献したと感じています。(大阪観光局ご担当者コメント)

■大阪・中之島は、大阪市中央公会堂や大阪府立中之島図書館などの歴史的建築物や、水の都ならではの由緒正しき“橋”という歴史遺産もある、水と緑に囲まれた都心のオアシスです。この立地を活かし、当会議場は関係機関と協力し来館者がワクワクできる中之島ならではのユニークベニューをご提案できるよう、メニューの商品化を目指してまいります。

## 特別インタビュー

# 「G7大阪・堺貿易大臣会合」を終えて

2023年G7貿易大臣会合  
大阪・堺推進協力協議会事務局

事務局長 古田 正様  
(大阪府 政策企画部理事\*)

去る10月28日(土)・29日(日)の二日間、当大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)を会議場とし、また堺市のホテルアゴーラ・リージェンシー大阪堺を地元主催歓迎行事等会場として、「2023年G7大阪・堺貿易大臣会合」が開催されました。この会議には、G7議長国である日本を筆頭に、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、米国、英国のG7各国、及び欧州連合(EU)が参加し、さらに招待国として、豪州、チリ、インド、インドネシア、ケニアの5ヶ国とWTO<sup>※1</sup>、OECD<sup>※2</sup>、ERIA<sup>※3</sup>の3招待国際機関の代表者も出席しました。

本誌編集部では、同会合の大坂・堺推進協力協議会事務局長として、会議成功のために尽力された大阪府政策企画部理事\*の古田正様に会議終了直後にインタビューさせて頂きました。

— G7大阪・堺貿易大臣会合が無事終わり、価値ある成果が得られたと評価されています。地元協力のトップに立ってのご活躍、お疲れ様でした。この会議は、2019年のG20サミット以来、久しぶりに大阪で開催された元首・閣僚級の国際会議でしたが、まず、会議が無事終了したことについて、古田局長の率直なご感想をお聞かせください。

昨年11月のG7貿易大臣会合大阪・堺推進協力協議会事務局発足時に、最重要課題として認識したのは、何よりも安全・安心な会合の開催でした。この面で、大阪府警察本部、第5管区海上保安本部、大阪市、堺市をはじめとする関係市町村の消防本部、大阪府・大阪市・堺市の危機管理部局、関係する保健所や医療機関の皆様、さらには地元の皆様など、本当に多くの皆様のご理解、ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。この度、無事に会合を終了できましたことも皆様のご理解、ご協力のおかげです。大変有難うございました。心より感謝申し上げます。

— 大規模な国際会議は、地域のブランド向上に役立ち、地域住民として誇りに思う一方、会議関係者のスムーズな移動のための交通規制や要人の安全対策が必要となり、歓迎一方とはならないことが多いと聞いています。今回の会合では、安全・安心な開催を第一にしつつ、同時に地元の機運を醸成するためどのような取り組みを行われたのでしょうか？

まずは安全・安心な開催に向けて、国や関係機関の皆様と連携を取りながら、地元の協議会として、記念撮影や歓迎レセプション会場への金属探知機設置、またVIPと一般招待客との動線分離などの自主警備に取り組みました。同時に、大阪府警察本部の皆様には、住民生活や事業活動等に影響を与える可能性のある交通規制などについて、安全・安心な会合の開催を十分に確保しつつ、影響が最小限となるよう御検討いただきました。また、住民の皆様への周知として、市の広報誌などを使わせていただくとともに、通行止め等の規制が行われる場所の周辺では、住民説明会の開催や、規制内容を周知するためのチラシなどを戸別に配布するなど、丁寧にご説明するように努めました。

一方、この会合の開催効果を住民の皆様に実感いただけるよう、府教育庁や関係する市町教育委員会などの協力をいただき、G7各国の総領事の方々に堺や南大阪の小中学校にお越しいただいて、特別授業といった形で子どもたちと交流していただける場を設けました。私もいくつかの特別授業を見学させていただきましたが、子どもたちも初めは様子見でしたが、総領事の楽しいお話を引き込まれ、楽しい授業となっていましたように感じました。この特別授業が、子どもたちにとって、世界というものの、国と国との関わり合いというようなことを意識していただくきっかけになったことを願っています。

また、会合100日前には、地元の関西大学・堺キャンパスのゼミ生の皆さんに、市役所前広場でG7 各国の料理などを楽しんでいただけるイベントを



Trade Ministers' Meeting  
in OSAKA-SAKAI

開催いただきましたし、堺のライオンズクラブの皆様からはカウントダウンボードをいただき、市役所の一階に設置ましたが、市役所を訪れる皆様に会合を意識していただくことができたものと感謝しています。

— 短い期間の中での会合開催に向けての機運醸成、開催支援という重要な業務に取り組まれる中で、課題や難題のようなものはございましたか？

私のミッションの一つに、地元歓迎レセプションに海外VIPが出席いただけるよう工夫をするということがありました。そのため、国に地元の問題意識をご説明し、政府主催の夕食会の開催などを働きかけていましたが、国におかれても地元の問題意識を真摯に受け止めていただき、地元歓迎レセプションに続いてワーキングディナーを開催いただきました。国のご配慮に感謝しています。

また、限られた時間の中で、開催地の堺を始めとした南大阪の歴史、伝統、文化、食などの多様な魅力をどのように発信するのかという課題もありました。そのため、国と一緒に堺コースと南大阪コースの2つのプレスツアーを実施した他、大阪国際会議場内のプレスセンターでは、南大阪の市町村や関係団体の皆さんとの協力により、お祭りを意識し工夫を凝らした体験型の展示や、景品付きのスタンプラリーなども行い、多くのメディアの皆さんに楽しんでいただくことができました。また、歓迎レセプションでは、ホワイエに大阪の観光地や工芸品などのパネル展示、南大阪の酒蔵の樽やだんじりの提灯の展示などを行うとともに、会場内には堺を拠点に世界的に活躍されている四代田辺竹雲斎の竹細工の作品展示の他、ふとん太鼓や二重結界の茶室での実演も行いました。さらに、南大阪の豊かな「食」を楽しんでいただくため、知事や市長のスピーチで「食」について触れていただくとともに、堺刃物を使った料理など40を超える種類の食事や地元産ワイン、地酒などを楽しんでいただけました。本当に多くの皆様が、VIPを始めとする海外の皆様に喜んでいただこうと、ホスピタリティ溢れる取り組みを行ってくださいました。

— 最後に、今回の会合の会議場となった当大阪国際会議場への評価をお聞かせいただくとともに、この度の会合が、大阪・関西が「アジア・大洋州地域でトップクラスのMICE都市」(大阪MICE誘致戦略)を目指す上でどのように起爆剤となったか、ご感想と展望をお聞かせいただけますでしょうか？

協議会では主にプレスセンターのPRゾーンでお世話になりましたが、出展者の様々な注文にも丁寧にご対応いただき、出展者の思う展示ができたり御礼申し上げます。国におかれても、刻々と状況変化がある中、柔軟に対応いただけたと喜んでおられました。これまで培ってこられたまさに国際会議場のノウハウ、地力というものを感じました。素晴らしい財産をお持ちと改めて感じております。ありがとうございました。

私は今回、G7貿易大臣会合の地元協議会事務局長を務めさせていただきましたが、大阪市以外では初めての開催となったこの会合において、経済安全保障などの世界的課題を安全・安心にご議論いただくことができ、また、出席者の皆様に堺をはじめとする南大阪の魅力を感じていただけたものと思っています。この会合を機に南大阪に関心をお持ちいただく方が一人でも増えれば幸いですし、こうした会議の成功が来る2025年大阪・関西万博にもつながっていくものと思っています。

# NAKANOSHIMA BUSINESS FRONTLINE



中之島の著名企業・施設を大阪国際会議場社員が訪問し、その歴史や活動を紹介する「NAKANOSHIMA BUSINESS FRONTLINE」。第12回目となる今回は、電動マイクロモビリティのシェアリングサービスを開拓する株式会社Luup 広報・渉外部の村本萌様に、営業部予約課の寺地淳起がお話を伺いました。



## 1人乗りマイクロモビリティをシェア

**寺地** このたびはお忙しい中、お時間を頂戴し、ありがとうございます。最近、街中で御社のロゴが入った電動アシスト自転車や電動キックボードをよく見かけます。御社はこれらの乗り物で、どのような事業をされているのですか？

**村本** 弊社は、「街じゅうを駅前化する新しい短距離移動インフラをつくる」ことを目的に、電動の1人乗りマイクロモビリティのシェアリング事業を開拓しています。現在、電動アシスト自転車と電動キックボードの2種類をシェアしており、大阪を含む8都市と小規模の自治体に導入していただいています。

**寺地** 街じゅうを「駅前化」するとは、どういうことでしょうか？

**村本** LUUP車両の駐輪場「ポート」を街のいたるところに配置することで、徒歩では遠く感じるお店や施設へも、快適かつ便利に移動できるようにしたいと考えています。電車が交通網の大動脈とすれば、LUUPは毛細血管のようなもの。さらにポートを充実させて、街全体の活性化につなげることを目指しています。

**寺地** 街中では、レンタカーやカーシェアリング、タクシーといった移動手段もありますが、それらとの差別化をどのようにお考えですか？

**村本** 移動手段ごとにメリットがあり、大前提

として用途に応じて使い分けていただければと考えていますが、例えば、タクシーはドライバーがいなければ移動できませんが、LUUPは電動・1人乗りなので、自分だけで移動することができます。また、都心でも地方でも人手不足は深刻です。そうした問題も踏まえて、1人乗りは重要なポイントだと考えています。また、街の風景や雰囲気を楽しみながら移動できるのも、レンタカーやタクシーなどとは違う点ですね。

## 運転免許なしで乗車できる

**寺地** LUUPの電動キックボードを利用する際、運転免許は必要でしょうか？

**村本** 2023年7月に法改正され、16歳以上であれば運転免許なしで電動キックボードに乗れるようになりました。ただし、弊社の電動キックボードを利用される際は、年齢確認ができる書類をアプリで提出し、交通ルールテストに連続で満点合格していかないとご利用ができない仕組みになっています。

**寺地** 初めて利用する人でも、事前にテストに合格していれば基本的な交通ルールの知識がつくということでしょうか？

**村本** おっしゃる通りです。ただ、まずは交通量の少ない場所で試し乗りしていただくと安心です。過去のアンケートを見ると、多くの方が「10分以内に乗れるようになった」と回答されています。自転車には乗れないが、電動

キックボードにはすぐに乗れた、という方も多いようです。

**寺地** 重心が低く地面に近いので、乗りやすそうですね。そのほかに、ユーザーさんからのどのような声が届いていますか？

**村本** 電車で目的地に行くには迂回しなければならない場合も、LUUPを使えば直線移動ができるので、利便性が高まったと喜ばれています。また、「ポートが多いので好きな場所に好きなときに行ける」「街の景色を見ながら移動できるので楽しく爽快感がある」といったお声もいただいているます。

**寺地** ポート密度の高さにもメリットを感じている方がおられるのですね。今、LUUPのポートは約4,600カ所とお聞きしています。なぜ、それほど多くのポートを設置できるのですか？

**村本** マンションやオフィスビル、コンビニのデッドスペースを活用しているからです。“街じゅうを駅前化”するには、小さなスペースからでもポート設置できることは重要だと考えています。その点、LUUPは、数台分のスペースがあればポートにできます。しかも、ポートは地面に緑色のテープを引くだけで完成します。その簡便性も、圧倒的なポート数を確保できる理由です。

**寺地** だから、ポートが多いんですね。ポートの増加に伴って利用者様も増えていると思いますが、街全体にはどのような影響を与えて

いますか？

**村本** LUUPのポートを設けてから、駅から徒歩15~20分の場所にあるお店の売り上げが上がった事例があります。こうした声をお聞きするたびに、LUUPの目的のひとつである街の活性化に効果をもたらしていると実感します。

### 中之島エリアの回遊性を向上

**寺地** LUUP事業の推進に向けて、現在、どのような取り組みをされていますか？

**村本** LUUPの利用者様はもちろん、それ以外の方にも電動キックボードの交通ルールを知っていただく必要があると思っています。そこで現在、弊社はさまざまなエリアで、地元警察署や自治体の方々と一緒に、定期的に安全講習会を実施しています。地道ではありますかこうした取り組みを通して正しい交通ルールを知ってもらうことが、LUUPの普及につながると考えています。

法改正により、運転免許がなくても電動キックボードに乗れるようになったため、海外から来られた方のご利用も増えています。LUUPのアプリは英語にも対応しているので、外国人の方々にも便利に使っていただけると思います。

**寺地** 弊社も、大阪府立国際会議場の広いス



ペースを利用して、電動キックボードの講習会を行い、LUUPの普及と中之島の活性化につなげたいと思っています。中之島は、水と緑に恵まれた環境に、歴史的建造物や美術館、博物館が点在する魅力的なエリアです。中之島にLUUPのポートが充実すると、どのような効果が期待できますか？

**村本** 中之島は名所が多く、訪れる価値のあるエリアだと思います。歩いてでも十分楽しめますが、電動マイクロモビリティを使えば、回りたい複数のスポットをより早く自由に行き来できるのではないかでしょうか。今後、さらに中之島のポート密度を高め、中之島エリアの回遊性を向上させるとともに、中之島を大阪のキタ・ミナミの交通連結点にしたいと考えています。

**寺地** ポートが増えれば、中之島がますます活性化しそうで楽しみです。本日はありがとうございました。  
対談実施日:2023年10月3日



上:かつて中之島にあった大阪中央電信局  
[画像提供:(株)NTTファシリティーズ]  
下:【絵葉書】大阪田蓑橋より電信局と大学病院  
[図版提供:橋爪紳也コレクション]



建築家山田守を記念するモニュメント

を讃える顕彰碑の役割も兼ねているわけだ。

現代の都市は「電化」の所産である。私たちが求められるなか、自動車もハイブリッドや電気自動車へ、自転車も電動アシスト自転車や電動キックボードへと転換しつつある。中之島界隈に、都市と「電化」の物語を探してみよう。  
かつて中之島5丁目には中之島発電所があつた。西道頓堀発電所に統いて、明治24年にあつた。西道頓堀発電所にて、明治24年に大阪電灯が開設した市内で二番目の発電所である。キタの歓楽街など、大阪市内北部に送電した。大阪中央電信局があった。昭和2年に竣工した局舎は、半円アーチと放物線を描く塔屋を設けた特徴的な外観により堂島川沿いのランマークとなり「白亜の殿堂」の異名を持つ。

下方には「1927-1966 山田守」と建物が存在した期間を記す。実は山田は、大阪中央電信局が解体された昭和41年に逝去している。電信局の跡地を後世に伝えるモニュメントは、山田が自身の墓碑に刻むことを願った人にあり。銀河にもある「生死かな」の句を想起させる。

中之島 トリア

## 都市の電化とモニュメント

### NAKANOSHIMA TRIVIA

#### 第12回



橋爪紳也 Shinya Hashizume

大阪公立大学研究推進機構特別教授  
大阪公立大学観光産業戦略研究所長

# CSR Report

グランキューブ大阪が関わった文化プロジェクトや社会貢献活動についての報告です。

## 9/29[金]-30[土] 国連UNHCR協会 国連難民支援キャンペーン

このキャンペーンはUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の難民援助活動を支えるため、国連UNHCR協会が全国各地の商業施設や街頭などで行っているものです。期間限定で1階電光掲示板前にキャンペーンコーナーを設置し、来館者の皆さまにご協力を呼びかけました。



## 10/3[火] 地下2階駐車場に 電気自動車(EV)充電器設置

脱炭素社会実現に大いに期待されている電気自動車(EV)の普及に協力するため、地下2階駐車場にEV充電器を1基設置しました。10月3日よりサービスを開始しております。皆さま、ぜひご利用ください。



## EVENT INFORMATION

グランキューブ大阪で開催されたイベントをご紹介します。

FINISHED [会期終了]

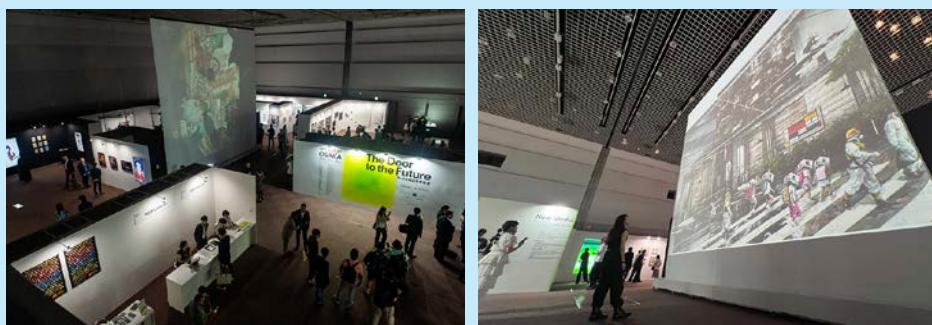
イベントカレンダー  
<https://www.gco.co.jp/event/>



### 2023. 9/1-3 art stage OSAKA 2023 アートで見る未来社会 - The Door to the Future -

国際的アート見本市として2022年に大阪で初開催された「art stage OSAKA 2023」。2年目となる本年は「アートで見る未来社会」をテーマに、今後のアートマーケット拡大を視野に入れて開催されました。国内外から多くの方にお越しいただき、デジタル作品を含む最先端の現代アートフェアを体感いただきました。

art stage OSAKA 2023. All rights reserved.



#### 〈電車〉

- 京阪中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分
- JR東西線「新福島駅」(2・3番出口)から徒歩約10分
- 阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- 大阪メトロ「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

#### 〈バス〉

- JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪シティバス(53系統 船津橋行)または(55系統 鶴町四丁目行)で約15分、「堂島大橋」バス停下車すぐ
- シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間で運行しており、ご利用いただけます(定員28名)
- 中之島ループバス「ふらら」で地下鉄・京阪「淀屋橋駅」(4番出口・住友ビル前)から約15分

## 株式会社 大阪国際会議場

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号  
Tel.06(4803)5555(代表) Fax.06(4803)5620



GRANDCUBE PRESSは、地球にやさしい広報誌。この印刷物は環境に配慮した植物油インクを使用しています。